

DECISION

Protest by TC

Request No.: 02

Event: 日建・レンタコムカップ 第31回全日本学生女子ヨット選手権大会 (All Japan Univ. Women's Sailing Championship) Race Number: 3R
Hearing Schedule: 2023-09-23 17:10

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 02: Protest Committee

国際470級 - 14 - Japan 4607 - 4607 - 増淵瑠奈 狩野遥風

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required 抗議の意思は公式掲示にて通告された。

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問に先立ち、申立人をプロテスト委員会からテクニカル委員会に修正し特定した。
申立人はテクニカル委員会神代幸介氏が出席した。
被申立人は艇4607増淵瑠奈氏が出席した。

FACTS FOUND

艇4607は第1レースでインシデントにより艇体を損傷した。
一度帰着した後、艇体番号4607から艇体番号4783に変更して第3レースに参加した。
艇体番号4783は大会の計測を完了していた。
艇4607は第3レースをスタートしコースの帆走をしフィニッシュした。
艇4607は予備艇に交換する前にSIで定められた装備の交換の要請を大会のLINEオープンチャットに掲載されていたGoogleフォームから行った。
テクニカル委員会は当該Googleフォームで申請された内容の確認を行っていなかった。
SI16はDP項目となっているが、NoR7.1(4)はDPの項目となっていなかった。

Diagram: Diagram not endorsed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: NoR7.1(4), SI16.3, SI1.7

艇4607は損傷した装備の交換の要請を最初の適当な機会にレース委員会またはテクニカル委員会に行った。
艇4607はテクニカル委員会の承認を得ずに第3レースに参加した。
艇4607はNoR7.1(4), SI16.3に違反した。
NoR7.1(4)とSI16.3は矛盾していたため、SI1.7に基づきSI16.3を優先する。
艇4607の規則違反は指示に従わないもっともな理由があった。
裁量ペナルティーガイドラインに基づいて、裁量ペナルティーの出発点はバンド1とする。
テクニカル委員会は申請の確認を十分に行っていなかったため、艇4607はSI16.3に違反せざるを得なかった。
ペナルティーを加重する理由はなく、ペナルティーを軽減する理由があった。

DECISION

Date & Time: 2023-09-24 18:01 JST

第3レースにおいて艇4607に裁量ペナルティーを課す。
裁量ペナルティはバンド1の midpoint 5% からスタートした。
ペナルティを軽減する理由があったため、艇4607の第3レースの得点に参加艇数の0%を加算する。

PROTEST COMMITTEE

Committee Type: Protest Committee

Chaired By: Ito Hirotaka (JPN)

Committee Members: Kureha Yamamura (JPN), Masayoshi Mizoguchi (JPN)

